



2021年度通常枠 事後評価報告書作成と提出までのながれ



JANPIA

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

- 1. 事後評価報告書の作成～報告までのスケジュール**
- 2. 事後評価結果の報告と活用**
- 3. 事後評価における点検と検証**

- 1. 事後評価報告書の作成～報告までのスケジュール**
2. 事後評価結果の報告と活用
3. 事後評価における点検と検証

事後評価報告書作成と提出までのスケジュール



事業完了日*1

実行団体

資金分配団体

2024年											2025年			
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
												↓ 実行団体	↓ 資金分配団体	
JANPIA → ご案内 様式等公開	実行団体 → 資金分配団体 事後評価計画を具体化 (7月末日途)					資金分配団体 → 実行団体 事後評価計画の点検 (随時)					実行団体 → 資金分配団体 事後評価報告 提出 (資金分配団体の事後評価報告書作成前まで)			
						事後評価の実施								
						資金分配団体 → 実行団体 事後評価報告の検証 (事業完了日までに適時)								
JANPIA → ご案内 様式等公開	資金分配団体 → JANPIA 事後評価計画書を具体化 (7月末日途)					JANPIA → 資金分配団体 事後評価計画の点検 (随時) ※評価専門家との点検レビュー会					資金分配団体 → JANPIA 事後評価報告 提出 (事業完了日まで)			
						事後評価の実施								
						JANPIA → 資金分配団体 事後評価報告の検証*2 (事業完了日までに適時)								

2/27,28 PO研修

PO研修
(事後評価検証に向けて)

*1 上記の事業完了日を想定したスケジュールです。完了日が異なる場合や事後評価実施スケジュールが異なる場合、それに合わせてスケジュールが前後します。

*2 事後評価報告書最終版受領前までに、事後評価報告書ドラフト版を共有いただき、適時JANPIAによる検証を実施します。

1. 事後評価報告書の作成～報告までのスケジュール
2. 事後評価結果の報告と活用
3. 事後評価における点検と検証

評価結果は活用されることが大切です



評価結果活用の目的

1

説明責任
を果たす

2

学びを
改善に
つなげる

3

知識創造の
ための材料
にする

参照：「資金分配団体、実行団体に向けての評価指針 2024年度1月改訂版」

1 説明責任を果たす

JANPIAへの報告だけが目的ではありません。



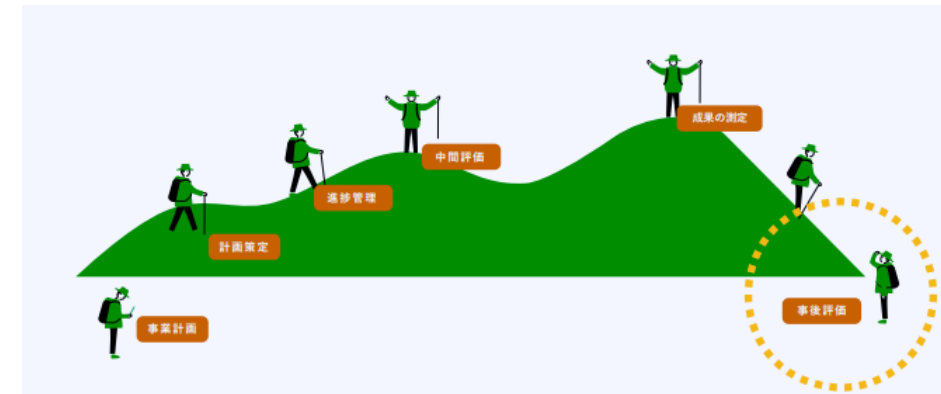
事業の対象者や多様な関係者、協力者、関連・連携団体、同地域で類似活動を行う団体など

に評価結果を開示・説明し、得られた活動の改善内容や知見を共有することが重要です。

また、資金の活用成果を積極的に情報発信することで、**広く国民の理解を得る**ことが重要です。

2 学びを改善につなげる

事前評価結果は、事業実施前に事業計画を精緻化するために、
中間評価結果は、事業計画の改善に活用するために。



そして、事後評価結果は、**次の事業計画や他団体の類似事業に活用することが**期待されます。

また事業への活用だけでなく、**組織単位で評価による知見や活動の改善内容が共有**されることで**自らも学習して進化する組織**に成長するために有効に活用していくことができます。

3 知識の創造のための材料にする

収集・蓄積された情報は横断的かつ具体的に分析し、構造化された知識として整理し、分かりやすく、使いやすい形で広く提供・公表し、様々な場面で活用できるような知識環境を整備します。



参照：「実行団体向け評価ハンドブック～事後評価編～2022年6月版」

【書式】

自由書式

【ファイル形式】

自由（情報公開用はPDF）

【記載内容】

「事後評価報告書に含める事項」の内容
を含めること



社会的インパクト評価の結果が読み手にしっかり伝わるよう
必要な項目を立てています。

必ず参照し、事後評価報告書に含めてください。記載の順序
は資料の通りでなくても構いません。

事後評価報告書に含める事項

※事後評価報告書は、自由書式です。ファイル形式や項目の記載順等は各団体でお決め頂いて構いません。ただし、社会的インパクト評価の結果が理解できるよう、内容には以下の事項を含めるようにしてください。

報告書を提出する際は、助成システムに記載のある公開上の注意事項を確認の上、提出してください。

1. 表紙と目次

1-1 表紙

表紙には下記の情報を含めてください。

- (1) 事業名
- (2) 資金分配団体名
- (3) 報告書提出年月

1-2 目次

2. 報告書要約

1600字程度で事業成果に関する結論を中心に概要を記載してください

3. 基本情報

この項目では、対象事業についての基本的な情報を記載してください。

- (1) 資金分配団体名
- (2) 資金分配団体事業名
- (3) 事業の種類

（草の根活動支援事業／ソーシャルビジネス形成支援事業／イノベーション企画支援事業／災害支援事業のいずれかを記載）

- (4) 実行団体名と各事業名
- (5) 実施期間
- (6) 事業対象地域

【参考】2019年度事業の事後評価報告書



休眠預金活用事業サイトで公開されています。

気になるワード

休眠預金活用事業サイト

休眠預金活用事業サイトトップ > 事後評価報告

事後評価報告

事後評価報告の記事一覧

- Home
- > 休眠預金活用とは
- > 団体の活動
- > JANPIAの活動
- > 業務改善活動
- > 関係者インタビュー
- > 活動スナップ
- > 成果物・レポート
- > イベント・セミナー
- > メディア掲載
- > 論文紹介
- > 実行団体の公募情報
- 資金分配団体リスト
- 団体詳細情報
- **事後評価報告**
- 外部評価・第三者評価

【事後評価】人口減少と社会包摂型コレクティブインパクト事業 | 佐賀未来創造基金 [19年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価」
JANPIA 広報担当 | 107 views 2023/07/26 19:00

【事後評価】大災害後の生活再建推進事業 | RCF [19年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価」
JANPIA 広報担当 | 132 views 2023/07/06 19:24

【事後評価】NPOによる協働・連携構築事業 | 中部圏地域創造ファンド [19年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価」
JANPIA 広報担当 | 167 views 2023/07/06 19:23

【事後評価】沖縄・離島の子ども派遣基金事業 | みらいファンド沖縄 [19年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価」
JANPIA 広報担当 | 111 views 2023/07/06 19:23

【事後評価】こども食堂サポート機能設置事業 | 全国食支援活動協会 [19年度通常枠]
事業完了にあたり、成果の取りまとめるために実施されるのが「事後評価」
JANPIA 広報担当 | 157 views 2023/07/06 19:23

【事後評価】中核的災害支援ネットワーク構築 | 全国災

休眠預金活用事業サイト
MOVIE LIBRARY
動画ライブラリー
休眠預金活用事業に関連する動画をご紹介しています。
活動の様子が伝わる動画を、ぜひご覧ください！

ランキング

- 1 イベント 11/22(水) JANPIA主催「SDGsへの貢献につなげる九州マッチン...」 JANPIA 広報担当
- 2 休眠預金活用 メディア掲載情報_no.33 JANPIA 広報担当
- 3 2023年度通常枠（第1回）資金分配団体が発表されました JANPIA 広報担当
- 4 教えて！「休眠預金活用」っていったい何？事務局員に聞きました... 休眠預金活用事業サイト 編集部
- 5 実行団体の公募 | 2022年9月15日現在 JANPIA 広報担当

>> 総合人気ランキング

最近話題のキーワード

休眠預金活用事業サイトで話題のキーワード

2019年度 休眠預金活用事業
事業領域 | 第1回支援活動事業

安全・安心な地域社会づくり支援事業 事後評

【資金】
更生保護法人

2019年度 休眠預金活用事業
「事業名：こども食堂サポート機能設置事業」
事後評価報告書
【資金分配団体】全国食支援活動協会

休眠預金 資金分配団体・第1回支援活動事業（地域ブロック）／2019～2022年度
NPOによる協働・連携構築事業
東海ブロック（事業対象地域：中部圏／愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県）

事後評価報告書
2019年度事業「外国ルーツ青少年未来創造事業」
資金分配団体 事後評価報告書

1. 基本情報

- (1) 資金分配団体名：公益財団法人日本国際交流センター
- (2) 資金分配団体事業名：外国ルーツ青少年未来創造事業—外国ルーツ若者支援・若者の社会的包摂のための社会連携作り
- (3) 事業の種類：イノベーション企業支援事業
- (4) 実施期間：2020年4月～2023年3月
- (5) 事業対象地域：全国

2. 事業概要

「外国ルーツ青少年未来創造」(Supporting Youth of Diverse Roots and an Inclusive Society. 以下、SYDRISと略す)は、学校教育や職業支援を通じて外国ルーツ青少年の成長を支援し、国際社会での活躍を促すことを目的とする。SYDRISは、学校教育や職業支援を通じて外国ルーツ青少年の成長を支援し、国際社会での活躍を促すことを目的とする。SYDRISは、学校教育や職業支援を通じて外国ルーツ青少年の成長を支援し、国際社会での活躍を促すことを目的とする。

1. 事後評価報告書の作成～報告までのスケジュール
2. 事後評価結果の報告と活用
3. 事後評価における点検と検証

事後評価報告書作成と提出までのスケジュール



事業完了日*1

実行団体

資金分配団体

2024年											2025年			
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
												実行団体	資金分配団体	
JANPIA → ご案内 様式等公開	実行団体 → 資金分配団体 事後評価計画を具体化 (7月末日途)					資金分配団体 → 実行団体 事後評価計画の点検 (随時)					実行団体 → 資金分配団体 事後評価報告 提出 (資金分配団体の事後評価報告書作成前まで)			
						事後評価の実施								
						資金分配団体 → 実行団体 事後評価報告の検証 (事業完了日までに適時)								
JANPIA → ご案内 様式等公開	資金分配団体 → JANPIA 事後評価計画書を具体化 (7月末日途)					JANPIA → 資金分配団体 事後評価計画の点検 (随時) ※評価専門家との点検レビュー会					資金分配団体 → JANPIA 事後評価報告 提出 (事業完了日まで)			
						事後評価の実施								
						JANPIA → 資金分配団体 事後評価報告の検証*2 (事業完了日までに適時)								

2/27,28 PO研修

PO研修
(事後評価検証に向けて)

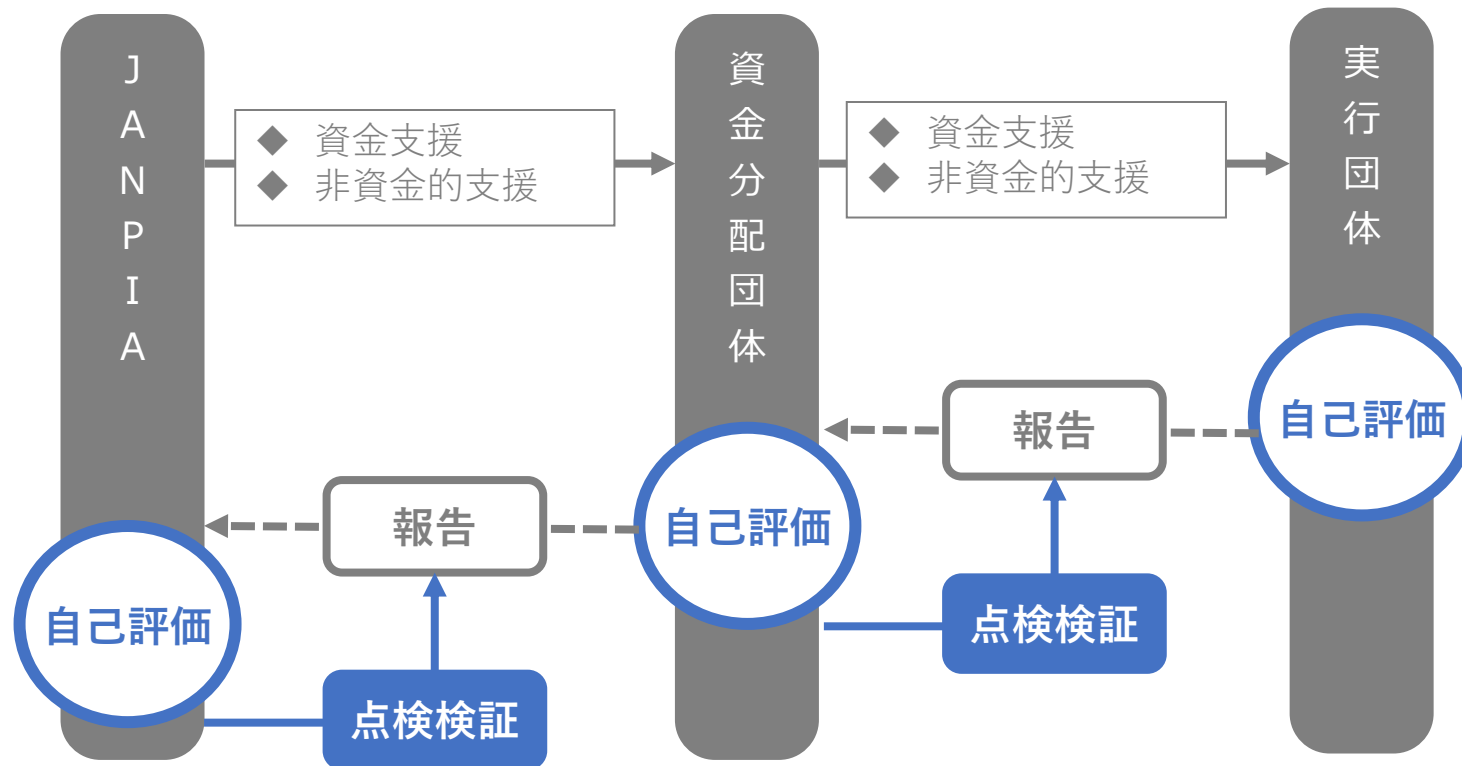
*1 上記の事業完了日を想定したスケジュールです。完了日が異なる場合や事後評価実施スケジュールが異なる場合、それに合わせてスケジュールが前後します。

*2 事後評価報告書最終版受領前までに、事後評価報告書ドラフト版を共有いただき、適時JANPIAによる検証を実施します。

休眠預金事業の評価の特徴

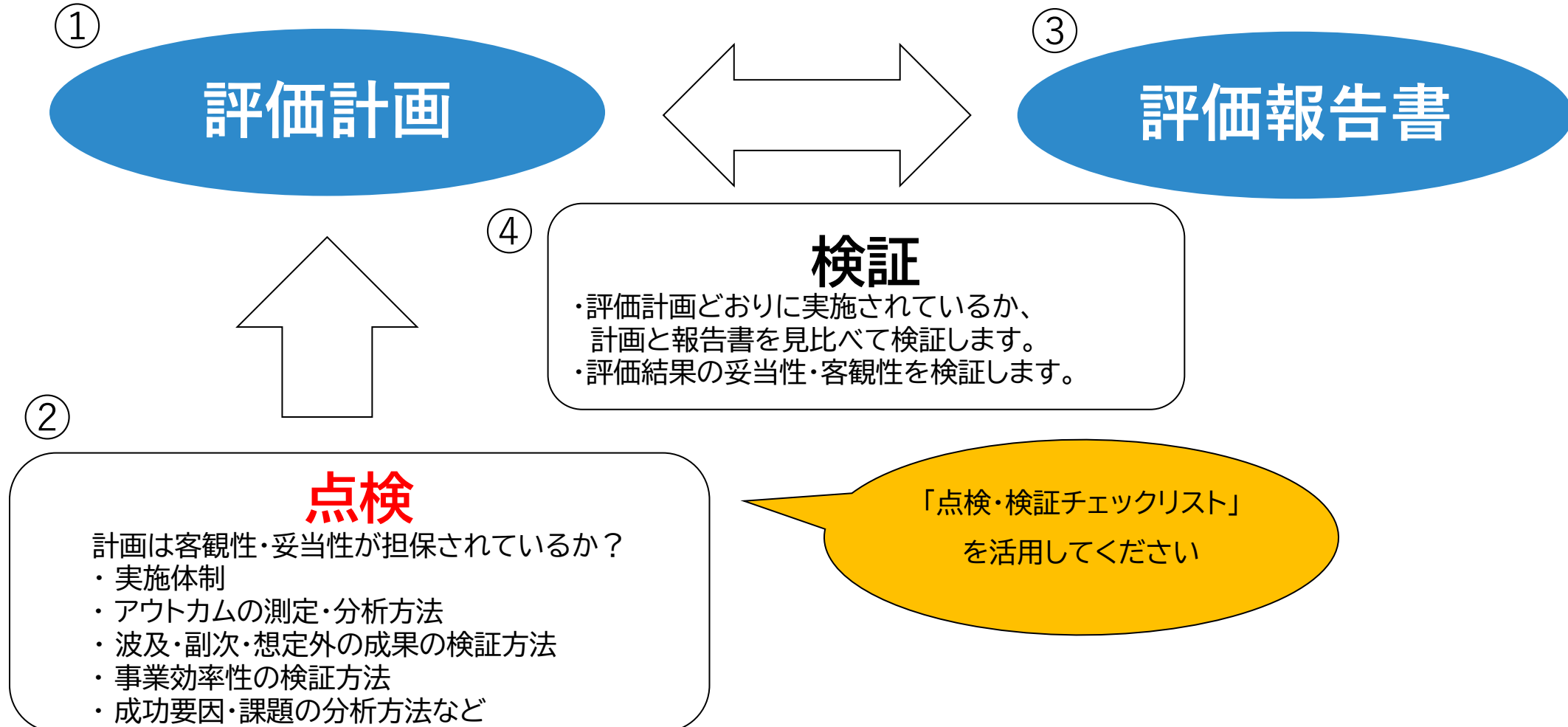
自己評価

→自己評価の客観性・妥当性を担保し、有効活用を促すために点検・検証を実施



①～④の順で、「点検」と「検証」を行います。

評価実施前に、評価計画の「点検」を行い、評価の質を事前に高めることを目指します。



【目的】

評価計画の客観性・妥当性が担保されているかを確認します。

【実施時期】

事後評価計画の具体化を実施後、事後評価の実施開始前

【実施方法】

実行団体が、資金分配団体へ具体化した事後評価計画書を共有
資金分配団体が「点検・検証チェックリスト」に基づき点検を実施。

【検証結果の反映】

結果を実行団体にフィードバックし、協議の上、評価計画書に
反映してください。

【目的】

評価計画の妥当性・客観性が担保されているかを確認します。

【実施時期】

事後評価計画の具体化を実施後、事後評価の実施開始前

【実施方法】

資金分配団体が、JANPIAへ具体化した事後評価計画書を共有
JANPIAが「点検・検証チェックリスト」に基づき点検を実施。

※評価専門家との「点検レビュー会」を適宜開催いたします。

【検証結果の反映】

資金分配団体にフィードバックしますので、JANPIA担当POと協議の上、
評価計画書書に反映してください。

【補足】点検に向けて「事後評価計画の具体化」とは



＜具体化する項目例＞

評価実施体制・方法の妥当性・客観性を担保するために、計画を具体化し、関係者で内容を確認・協議します。

- 実施体制
- 実施スケジュール
- アウトカムの測定方法
- アウトカム測定結果の価値判断の仕方
- 成功要因・課題の分析の仕方
- 事業効率性の検証方法
- 事業で重要とする事項が検証される計画になっているか
- 提言、知見・教訓を導き出す方法
- 評価関連経費の活用方法

不明点やお悩み等は、
「点検」の場を活用して
改善していきましょう！

この後、事後評価計画の具体化に向けたワークを行います

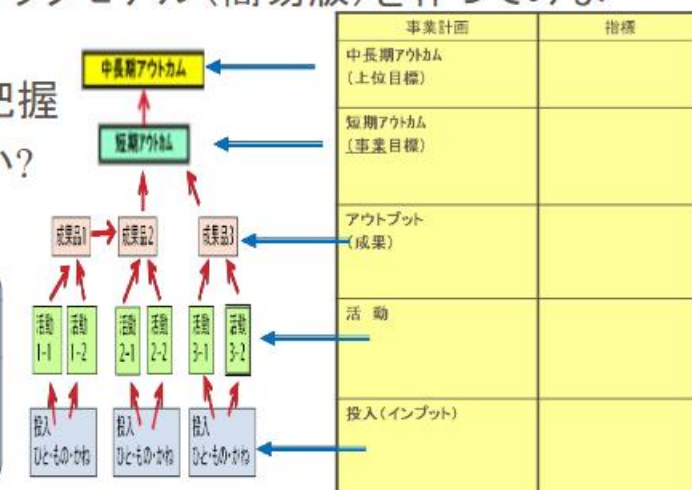
簡易的なロジックモデルで構造を理解・把握する

評価計画作成のための思考の流れを理解し手を動かす

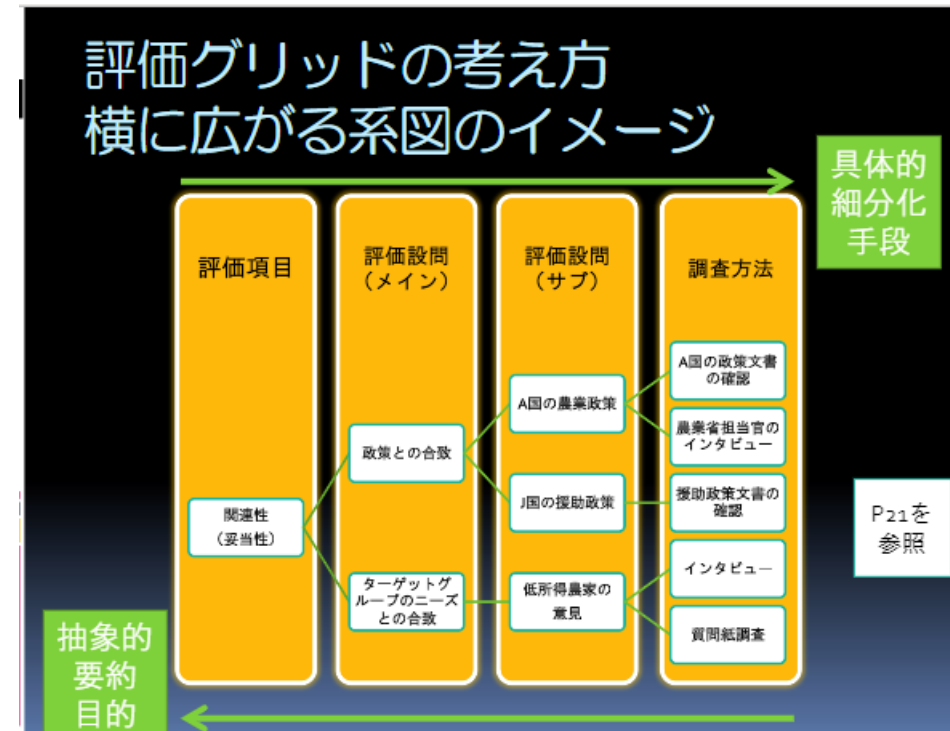
ミニ演習

- 事業計画書や既存のロジックモデルをみて、ロジックモデル(簡易版)を作ってみましょう。
- 理解・把握できますか?

評価の前提として把握は重要。



事業計画	指標
中長期アウトカム (上位目標)	
短期アウトカム (事業目標)	
アウトプット (成果)	
活動	
投入(インプット)	



秋に改めて検証に向けた
PO研修を行います！

【目的】

評価報告書の妥当性・客観性を検証します。

「事後評価報告書に含める事項」が内容に含まれているかも確認します。

【実施時期】

事後評価報告書最終版を受け取る前

【実施方法】

実行団体が、資金分配団体へ事後評価報告書ドラフト版を共有
「点検・検証チェックリスト」に基づき検証を実施。

【検証結果の反映】

結果を実行団体にフィードバックし、協議の上、事後評価報告書に
反映してください。

秋に改めて検証に向けた
PO研修を行います！

【目的】

評価報告書の妥当性・客観性を検証します。

「事後評価報告書に含める事項」が内容に含まれているかも確認します。

【実施時期】

事後評価報告書最終版を受け取る前

【実施方法】

事後評価報告書ドラフト版（目次案または各項目の要旨がまとまったもの）を共有、適時JANPIAによる検証を実施

【検証結果の反映】

結果は資金分配団体にフィードバックしますので、JANPIA担当POと協議の上、事後評価報告書に反映してください。

- 事業完了に向けて、事後評価報告書その他、経費精算報告、事業完了報告など複数の提出物がございます。**余裕をもったスケジューリング**で準備をお進めください。
- スケジュールはあくまで目安ですので、
皆さんの事業の進捗に合わせて、**前倒し**で進めていただいても結構です。
- ご不明な点や、スケジュール通りに進まない懸念がある場合は、
JANPIA担当プログラム・オフィサーに相談してください。